

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19730400

研究課題名（和文）芽生え期の自己内対話の育成 - 問いかける自己の形成に及ぼす他者との対話の検討

研究課題名（英文）Private speech and internalization of dialogue in preschool period

研究代表者 藤岡 久美子（FUJIOKA KUMIKO）

山形大学・大学院教育実践研究科・准教授

研究者番号：80306472

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：心理学・教育心理学

キーワード：プライベートスピーチ 言語発達 心の理論 実行機能 協同的問題解決 4 歳児 Vygotsky

## 1. 研究計画の概要

### (1) プライベートスピーチの測定方法の検討

自己内対話の原初的姿と位置づけられるプライベートスピーチの機能や内化の水準を測定するための、方法論的課題を検討するために、先行研究の検討及び自身のデータの再分析を行う。

### (2) 他者との関わりが「問いかける自己」の形成に与える影響の検討

幼児を対象に縦断的に調査を行い、プライベートスピーチ測定による言葉の内化の発達水準を測定する。

観察場面を設定し、有能な (more competent) 他者及びより有能ではない (less competent) 他者との対話が問題解決場面におけるプライベートスピーチに及ぼす影響を検討する。

データの総合的な分析により、プライベートスピーチ発達の個人差と他者との対話の内化の個人差の関連を検討する。

## 2. 研究の進捗状況

### (1) プライベートスピーチの測定方法の検討

先行研究の理論的検討と研究者自身による先行研究で蓄積されたデータの再分析の結果より本研究での調査対象を 48 ヶ月前後から 60 ヶ月までの幼児とし、プライベートスピーチの測定方法の詳細を定めた。

### (2) 他者との関わりが「問いかける自己」の形成に与える影響の検討

2008 年後期の時点で 44～60 ヶ月であった

54 名の幼児を対象に、2009 年度までに 3 回調査を行った。

言葉の内化の発達水準の測定 1：複数の認知課題遂行中のプライベートスピーチの採取、言語発達検査、心の理論課題を行い、対話及び注意の制御に関する保育者評定を行った。その結果、視覚的探索課題において低機能なプライベートスピーチを多く示すほど誤信念課題の成績が低いこと、また、保育者評定による幼児の対話性が高いほど視覚的探索課題の成績が高いことが示された。これらの関連は、年齢や言語年齢を統制した後も有意な傾向であった。自己に向けられた言葉が、その誕生初期から心的操作の役割を果たせるわけではないこと、また、自己に向けられた言葉が心的操作の役割を果たせるようになることが誤信念課題の成否に関係していることが示唆された。対象児の月齢群ごとに分類課題遂行中のプライベートスピーチと誤信念課題の成績の相関を検討したところ、4 歳児群では発話量と誤信念課題に正の、5 歳児群では負の相関が示された。自分に向けられた思考の道具としての言葉の発達の個人差と、社会的認知能力の個人差の関連が示唆された。

言葉の内化の発達水準の測定 2：分類課題中のプライベートスピーチ、心の理論課題に加え、記憶の言語媒介性を測定した。

他者との対話がプライベートスピーチに及ぼす影響：幼児に適した製作課題を用いて、これを用いて有能な他者との協同条件、単独条件、有能ではない他者との協同条件における他者との対話及びプライベートスピーチ

一子を測定した。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)

調査の実施に関しては概ね順調である。

4. 今後の研究の推進方策

本研究の調査データは、発話の書き起こし等の必要からデータの整理に時間を要することに加え、縦断的データの蓄積であるため、最終年度にデータ分析の多くを行う。

すでに行った先行研究の理論的検討も踏まえ、分析が終了した後、すみやかに研究成果の公表のための学会発表及び論文執筆を行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計0件)

[学会発表](計3件)

Fujioka, K. 2009 Private speech, executive function, and theory of mind in four-year-old children. The 11th European congress of psychology (Oslo, Norway) Poster presented. (July 7, 2009)

藤岡久美子 2009 幼児の private speech と実行機能 日本発達心理学会第20回大会(東京)発表論文集, p107. (March 23, 2009)

Fujioka, K. 2007 Developmental change in preschoolers private speech: longitudinal study. American Psychological Association 115th Annual convention (San Francisco, USA) Poster presented. (August 18, 2007)

[図書](計0件)

[産業財産権]

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

[その他]